

## 製品化・実用化等の状況（平成23年度実施）

調査対象：本助成事業の活用事例のうち平成22年度時点終了課題の応募者

調査時期：平成23年12月

<製品化・実用化の状況> ※複数回答あり

出荷の有無を問わず製品化されているものは32件（26.5%）となり、固有の製品化以外に「既往の製品に要素技術として反映」しているものも9件（7.4%）みられる。また、39件（32.2%）は「引き続き技術開発中」となっている。

	件数	割合
1. 既に製品化・実用化し、出荷している	21件	17.4%
2. 既に製品化・実用化しているが、出荷実績はない	11件	9.1%
3. 販売・量産化に向け生産体制を整えた（または整備中）	8件	6.6%
4. 具体的な製品化・実用化に向け、試作品を作成した（または作成中）	17件	14.1%
5. 製品化・実用化に向け引き続き技術開発中	39件	32.2%
6. 既往の製品に要素技術として開発成果を反映（機能拡充や製品改良に貢献）	9件	7.4%
7. 製品化・実用化することを取りやめた	9件	7.4%
8. その他	7件	5.8%

<論文掲載・特許取得等の状況>

論文掲載については、各応募提案者とも積極的に行われており、一つの提案で数十件の論文を発表したものもみられる。

項目		件数／事業数
論文掲載		635件／64事業
新聞・雑誌・各種メディアへの掲載		329件／44事業
特許取得	申請中	65件／29事業
	取得済	20件／15事業